

良い関係を築くための3箇条

交わりの礼拝

2008/6/1

ヤコブの手紙 1章19-20節

「わたしの愛する兄弟たち、よくわきまえていなさい。だれでも、聞くのに早く、話すのに遅く、また怒るのに遅いようにしなさい。人の怒りは神の義を実現しないからです。」

第1条 相手の話をしっかり聴く

- 「聞くのに早く」とは、「聞くことに熱心で、注意深く聴きなさい」という意味である→「聴く」
- ただ聞いているだけではなく、相手が何を言おうとしているのか理解することが大切
- 話の内容だけではなく気持ちを感じ取ること
 - 「共感的」に聴く
- アドバイスは求められたときだけ！
 - アドバイザーは嫌われる

聴くことは相手を受け入れること

- 話をじっくり聴いてもらえると嬉しい
 - 話を聴いてもらおうと認められた気持ちになる
- コミュニケーションで大切なのは伝えることではなく受け取ること
- 神様は人間に二つの耳と一つの口を与えられた
 - 耳はいつも開いているが口は閉じている
- あなたはどのような姿勢で話を聴いていますか？

第2条 よく考えてから話す

- 「早合点」しないように最後まで話を聴く
- 「話すのに遅く」とは話す前によく考えること
 - 相手は今何を求めているのかを考える
- 話す量は聴く量の半分以上に！
 - 「雄弁は銀、沈黙は金」
- 言葉は薬にも毒にもなる
 - 「軽率なひと言が剣のように刺すこともある。知恵ある人の舌は癒す。」＜箴言 12:18＞

人を喜ばせる言葉

- 人をほめる言葉○ 人を批判する言葉×
 - お世辞だと分かっているけど嬉しい！
- 肯定的な表現○ 否定的な表現×
 - あきらめが悪い → ねばり強い、持続力がある
 - あわてんぼう → 行動的な
 - いいかげんな → こたわらない
 - 意見が言えない → ひかえめな、協調性がある
- 積極的な言葉○ 消極的な言葉×

第3条 すぐに怒らない

- 「怒るのに遅いように」とは「怒るな」ということではなく、「すぐにカッとなるな」ということ
- 怒りっぽい人は嫌われる
 - 「いさかい好きで怒りっぽい妻というよりは／荒れ野に座っている方がよい。」＜箴言 21:19＞
 - 「怒りやすい者の友になるな。激しやすい者と交わるな。」＜ 22:24＞
- すぐに「キレる」人が増えている！

正しい怒り方

- 「怒り」は神が与えて下さった感情
 - 怒ることは間違いではない
- しかし、「人の怒りは神の義を実現しない」
 - 神の正義は罪への怒りとなった
 - 十字架は神の正義の表現だが愛も満ちている
- 怒りの感情に支配されない
 - モーセの失敗
 - 「怒りは愚かな者の胸に宿る」＜コヘレト7:9＞

4種類の聞き手＜マルコ4章2～9節＞

イエスはたとえていろいろと教えられ、その中で次のように言われた。「よく聞きなさい。種を蒔く人が種蒔きに出て行った。蒔いている間に、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。ほかの種は、石だらけで土の少ない所に落ち、そこは土が浅いのですぐ芽を出した。しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。ほかの種は茨の中に落ちた。すると茨が伸びて覆いふさいだので、実を結ばなかった。また、ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び、あるものは三十倍、あるものは六十倍、あるものは百倍にもなった。」そして、「聞く耳のある者は聞きなさい」と言われた。

実りをもたらす聞き手になろう

- 聞く気のない・拒絶的な聞き手
- 表面的な聞き手・理解しようとししない聞き手
- 集中力のない聞き手・聞いているうちに他のことが気になる聞き手
- 心を開いてじっくり聞く聞き手
 - － 豊かな実りをもたらす！